

『ラメ付き切り花はぼたん』による新たな需要創出

南加賀農林総合事務所農業振興部



ラメ付きはぼたん（試作品）



はぼたんの調製作業

切り花はぼたんは、主にお正月の生け花用の花として、年末年始の需要期に鮮やかに色づく品目です。当事務所では、水稻育苗ハウスの未利用期間を利用して栽培できることから、集落営農組織を中心に栽培を勧めており、現在、小松市内では7戸の農業者が約4万本を生産しています。

近年、はぼたんは、フラワーアレンジメントや寄せ植えにも使いやすい小さいサイズの花（輪径10cm以下）が人気を集めており、市場でも高単価で取引されていることから、小松の産地では大輪から小輪への切り替えを進めてきました。

しかし、小輪のはぼたん生産を増やすと、さらに輪の小さいもの（輪径8cm以下）ができてしまい、この極小輪は規格外品となり出荷できませんでした。

このため、当事務所では、極小輪のはぼたんにラメをつけることで、これまではぼたんのイメージを一新する花として販売することを考案しました。

まず、マニキュア用のラメを用いて試作し、市場に商品提案したところ、担当者の興味を引いたため、本格的な開発に乗り出すこととしました。お正月用の「華やかさ」「めでたさ」を演出し、また、蛍光灯下で美しく映えるようにするため、ラメの種類や量、載せ方の検討を重ねました。

さらに、ラメ付きはぼたんを既存のはぼたと差別化するため、「アンティークゴールドレース」「アンティークゴールドルージュ」と命名しました。平成21年度に試験販売を行ったところ、バラに似た姿で、洋花のアレンジや花束などとして用いられ、好評を得ています。

ラメ付きはぼたんは、平成22年12月から金沢及び関西の市場で本格販売を開始しました。今後は生産者を増やし、さらなる増産を図っていきます。

問い合わせ先：南加賀農林総合事務所農業振興部（0761-23-1703）